

今回私は初めて税金について勉強する中で、たくさんの種類の税金があることを知り、私達の身の回りで数多くの税金が使われていることが分かった。また、日本は多額の借金をして、医療や年金などの社会保障費をまかなっていることを学んで、驚いた。そして、今社会で蔓延しているコロナや、それに奮闘する医療とそれを支える税について私の考えを述べたいと思う。

私の父は救急救命士をしており、日々急増するコロナ患者の対応にあたっている。父の話によると、コロナにかかった患者さんは、呼吸困難で、とても苦しそうにしていたそうだ。また、病院では重症の患者に対し、医師や看護師を通常よりも増やして対応していると聞いた。しかし、そのように対応するためには「税金」が必要になる。調べたところ、父のような救急救命士の他、教師や医者、消防士などの「公務員」は、税金から給料をもらって働いている。そのため、税金がなければコロナ患者も救うことはできないのだ。しかし、今の財政では約三分の一を借金でまかなっており、ばく大な借金を背負っている。特に今はコロナの影響により、給付金などを払わなければならない。そのため、より多くの国債を発行する必要がある。それでもいずれ、その借金を返していくのは私達子供世代である。正直、このことを知った時は少し疑問もあったのだが、今の時代、そうなるのは必然的なものかもしれないとも考えた。私は、これからもっと借金が増え、私達の負担が重くならないためにも、日本がコロナウイルスのワクチンを開発し、全世界に売れば良いのではないかと思った。しかし、ワクチンもそう簡単には作れないので、そのようなことはただの理想にすぎないのかもしれない。今の日本はワクチンによって少しは感染を防げているものの、今でも医療は常にひっ迫状態である。そのため、私達が今からできることといえば、少しでも医療費の負担をかけないように、健康を意識した生活を心掛けることや、コロナウイルスに感染しないよう、人混みを避け、不要不急の外出をしないことだ。また、今のうちから税金の種類や使い道を知り、その大切さについて理解しておくことも重要だと思う。国民の一人一人が今より健康に生活していけば、国の医療費負担が減って借金も減り、将来世代の負担も軽くなり、良いと思う。私は今まで、税金について考えもせずに税金を払ってきた。今では消費税が増税されたことに対し、税金の詳しい使い道について求める声も上がっている。税金をただ何も考えずに払うのではなく、税金について学習した上で払っていかうと改めて思った。最後に、私は医者を目指している。今回勉強して、税金と医療は無関係ではないことが分かった。なので、もっと詳しく税金のことについて学び、そのことを生かした色々な工夫で、医療を助けられるような医者になりたいと思う。